

息子を嫁のうちに 盗られるな!

Don't Have Your Son Stolen!

【開運家族】 大学教師をしていると、親つてやつは、どうかしている
と痛感する。

高校時代まで、あんなに子供の尻を叩いていた親が、大学生になる
や、もう勝手にさせるしかないか、と思い出す。これは、育てたエネ
ルギーと年月と教育費や衣食住代、しめて5000万円ぐらいを、子
供への愛とともに、ドブにぽいするのと同じだ。
どうも大学生になったら、もう一人前だ、自分の判断力でやらせる
しかない、と誤解しているらしい。

私は教師として、二週間に一度は、宿題を出す、彼ら彼女らは、じつによくやつてく
る。こと大人の指導に対してのアクセプトする姿勢はまるで中学生と同じである。いいか
な、今の大学生の知的レベルが落ちたと言っているのではない。社会的な判断力がまだま
だ未発達で、だから、親たちは、そうとも知らずに、大人扱いをしては、けつきよく、自
分の子を迷わせるばかりなのに、平気である。それは本人にとっても不幸せなことなんだ、
と知っているのである。

そりゃあ、大学生になると、化粧はする、酒は飲む。合コンはやる、飲んで帰るとおま
せな話もするだろう。真面目な子は留学したいだの、お父さん、結婚つて、どう思う？

なんてことも話題にする。だが、基本的には、判断力はまだ中学生だと思つていてよい。
いや、その昔、中卒は金の卵と言われた頃、一家の生計を助けるために上野駅に降り立っ
たけなげな中学生よりも、社会に出ることに、覚悟がない。これはけっして大げさに言う
のではない、真剣味も世の中の厳しさを知らうとする気持ちも、ああ上野駅の頃の中卒の
子たちまでにも、成長していないと考えていい。

だから、自分の息子や娘が高校生や大学生になったら、父親たるもの、もすこし世の中
のことを教えてやれよ。親父どもよ、もつとしっかりせんか！ と、私は40代後半から
50代のパパたちを、ここで叱っているのである。あなた方が、仕事のこと、世の中の仕
組み、人生や、世代ごとはどう変わるものなのか、それを教えてやらねば、誰が教えるのか！
自分たちの子供らは、まだまだ50%の出来上がりなのだ、となぜ気づかないか。放任
主義は理解あるパパの姿ではない。いい加減な親、というだけだ。

私は近著『愚劣少年法』で、役人官僚のけしからん天下り、退職金重ね取りの話を多々
書いた。それを読んで、感動したね。世の中ってこんなだったんだ、いい本を読ませても
らった、と率直に私に感謝した学生が何百人といた。いいか、父たちよ。君らが息子や娘
をしつかり教育するのは、大学入学の時点で終わったわけではない。彼らが大学生になっ
てから、ほんとうの教育が始まると心得よ。